

奈市P連発第4号
令和8年8月27日

奈良市教育委員会
教育長 垣見 弘明 様

奈良市PTA連合会
会長 福岡 善基

要 望 書

日頃より、奈良市PTA連合会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

昨年度は、業者によるエアコン清掃を順次進めていただく予算を計上していただき、ありがとうございました。

さて、今年度も奈良市PTA連合会では、各単位PTAからの声を集め、8月6日に開催した第2回理事会（書面開催）で内容を検討いたしました。次の通り、要望いたします。

《要望事項》

1. 部活動の地域展開に関して、問題解決までの道筋を示してください
2. プール授業における問題解決の方向性を示してください
3. ネットリテラシー教育のさらなる充実をお願いすると共に、タブレットが与える身体的影響への配慮をお願いします
4. こども園・幼稚園のセキュリティ強化のため、防犯カメラの設置をお願いします

《補足説明》

1. 4月より開始された部活動の地域展開について、現在起こっている問題（指導者不足、活動時間が足りない、活動場所がない、ルールが曖昧、仕組みが整っていないなど）に保護者から不安や不満の声が数多く上がってきています。本来地域展開は『指導者は、希望される先生や専門性のある地域の指導員が担い、不足なく指導員の人数が確保されていること』『活動場所は、学校の施設、地域の体育館や文化施設などを利用できること』が整わないと成り立ちません。しかし、奈良市は、地域全体の力で生徒の活動を支え、多様なニーズにこたえるという部活動の地域展開の理想には程遠い現状です。まずは指導員の人材確保のために必要な予算を計上していただきますようお願いいたします。また、奈良市が今後、どのように部活動の地域展開を進めていくのか、HPなどで情報発信していただきますよう、お願いいたします。十分に準備が整う前に始まってしまった結果、過渡期の生徒への影響ははかりしれません。あと何年くらいで目指す形になるのかを示していただきますよう、お願いいたします。
2. 昨年度の要望回答で、『児童の発達段階に応じたプール学習が必要』との見解をお伺いしましたが、実際6月は天候不良、7月は猛暑で授業がなくなることも多く、児童・生徒の水泳学習の機会が十分に確保されておりません。プール施設の老朽化も進んでおり、安全面でも不安があります。またプール授業の民間委託に関しては、スイミングスクールの場所や送迎時間の関係で、実現可能な学校とそうでない学校があります。公教育として、水泳学習が必要ということなのであれば、地域による、授業の実施状況や成果に差がでることはあってはいけないことです。以上の点を踏まえ、奈良市のプール授業における問題解決の方向性を示してください。
3. 昨年度の要望に対し、情報モラル教育に前向きに取り組んでいただけるとご回答いただきました。使用時間に制限をかけていただくなどの対策も取っていただき、ありがとうございます。しかしながら、児童・生徒間では制限を解除する方法が拡散され、長時間ゲームをしたり、YouTubeを視聴したりするなど、当連合会の部会や理事会などでも保護者より不安の声が多数あがっています。どんどん進む情報社会の中では、新たなネット犯罪やトラブルも増加しています。そこで、今年度もネットリテラシー教育の内容をアップデートしていただき、年齢に応じた内容で実施していただきますよう、お願いいたします。また、小学校ではタブレットの重さが与える身体的影響を不安視される声が、あがっています。他の教材と合わせるとかなりの重さになり、転倒リスク、夏場は熱中症リスクが上がるとの声もあります。毎日持ち帰る必要性についてご検討いただき、特に低学年の児童は、季節や学習内容により学校で保管するなど、児童の負担軽減にご配慮いただきますよう、お願いいたします。
4. 現在、こども園の正門には防犯カメラが設置されていますが、駐車場や園庭などには設置されていない状況です。園児、保護者、職員の安全確保および、不審者の侵入防止など、園全体のセキュリティ強化のため、駐車場や園庭などにもカメラの設置をご検討いただきますよう、お願いいたします。